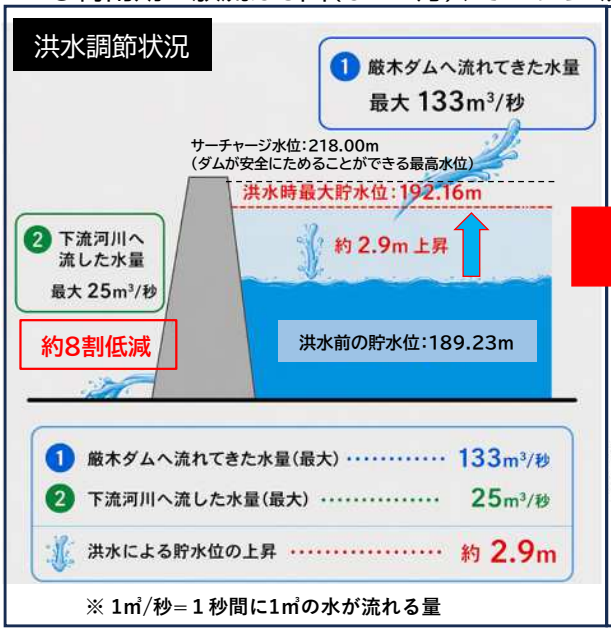
★令和8年　梅雨期を振り返って★

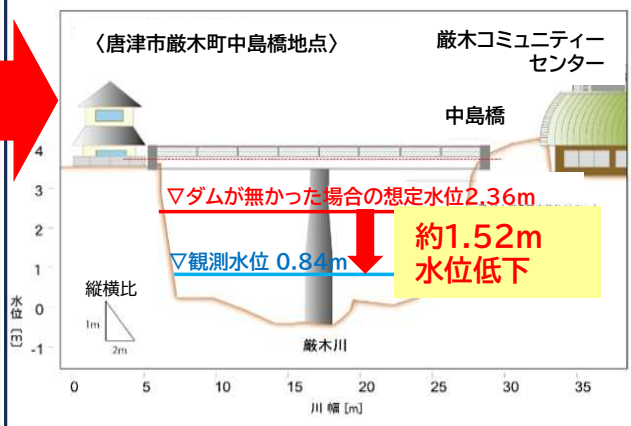
「洪水調節」により中島橋地点で約1.5mの水位低減効果を発揮

〇令和8年の梅雨入りは6月4日頃(平年並)、梅雨明けは7月8日頃(早い)でした。
〇梅雨期の放流は5回(6～7月)、そのうち「洪水調節」を1回(7月4日)実施しました。



もしもダムが無かったら…

観測水位より約1.52m高くなっていたと想定されます。



・「洪水調節」を実施した7月4日は、ダム上流で累加雨量113mm、最大時間雨量60mmと、短時間での強い雨を観測。
・「洪水調節」により**下流へ流す水量を最大時で約8割減らした**ことで、**中島橋地点では水位を約1.5m下げることができました。**
・仮にダムがなかった場合、自治体による「高齢者等避難」の発令判断につながる可能性がありました。

【洪水調節とは？】
ダムに流れこむ水の一部を貯めて下流に流す水の量を減らすことで、下流河川の氾濫被害を防止または軽減します。この操作を洪水調節※と呼びます。
※厳木ダムでは流入量が80㎥/秒以上で洪水調節を開始します。

●スポーツ公園のゴミ放置状況について■

ダム上流のスポーツ公園や河川プールは、夏の期間中、多くの方々に利用されています。
県外ナンバーの車両も見られるなど、地域内外から多くの皆さまに親しまれる憩いの場となっています。
しかし、一部でゴミの放置が確認されており、地域の皆さまも心を痛めておられます。

放置されたゴミは景観を損ねるだけでなく、
自然環境にも影響を及ぼすおそれがあります。





「不法投棄は犯罪です！」
違反した場合は、
・5年以下の拘禁刑
・1,000万円以下の罰金
・または その両方(併科)が科される可能性があります。

ゴミの放置、不法投棄を見つけた際は、
当支所までご連絡ください。
当支所でも巡視や監視を行い、環境保全や不法投棄の防止に取り組んでいます。

国土交通省　武雄河川事務所　厳木ダム管理支所
川ら版

発行所
武雄河川事務所
厳木ダム管理支所
唐津市厳木町
広瀬446-4

TEL (0955) 63-2500
FAX (0955) 63-2512

ホームページアドレス
https://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/

10月1日
第 29 号

紙面の問い合わせ
上記発行所へ

武雄河川事務所 公式 X(エックス)
https://x.com/mlit_takeo

＃松浦川 ＃唐津
＃武雄河川事務所
＃厳木ダム

厳木ダムの情報についてお話します



▽ダム見学について▽





ダム見学の参加者を随時募集しています。
ダム見学では普段は入ることができないダム内部を見学でき、監査廊（ダム内部の通路）や放流設備（ゲート）などをご覧いただけます。

見学対応：平日　9:00～16:00
申込方法：電話もしくはFAXにて
連 絡 先：厳木ダム管理支所
TEL(0955)63-2500
FAX(0955)63-2512

●見学についての情報はこちら⇒

https://www.qsr.mlit.go.jp/kyuragi/watch/kengaku.html

※申込用紙は厳木ダムホームページに掲載しています。

★事前の申し込みをお願いいたします。

・工事や点検等の状況により、ご希望日に対応できない場合があります。
・台風や大雨による洪水時など、天候不良により見学を中止させていただくことがありますので予めご了承ください。

◇ダムカード配布中◇

【ダムカードとは】
ダムの役割や特徴を紹介したカードです。
全国のダムを訪れて収集するファンも多く、
厳木ダムでも配布しています。
※一部配布していないダムもあります。

配布場所：厳木ダム管理支所
配布時間：
8:30～17:15（平日）
9:00～17:00（土・日・祝日）

※ダムカードは、来訪者1人1枚の配布となります。
※土・日・祝日は、入り口のインターホンを押してください。



遠く北海道からお越しになった方も！
昨年度は775枚、配布しました！



△流域治水とは△

なぜ「流域治水」が必要なの？

近年、気候変動の影響などにより、大雨による水害が激甚化・頻発化しています。
これからの水害に備えるためには、堤防やダムなどの整備だけでなく、地域全体で水害に備えることが大切です。
国土交通省も気候変動に伴う水災害に対し、河川管理者だけでなく、国・自治体・企業・住民など、あらゆる関係者が協働して流域全体で対策を進める「流域治水」を推進しています。

「流域治水」とは？

流域治水

川の中だけでなく、雨が降る地域から川の下流までを一つの「流域」として考え、みんなで水害を減らしていく取り組みです。
行政による堤防整備やダムなどの対策に加えて、地域や企業、住民の皆さんが、それぞれの立場でできる対策を組み合わせて、流域全体で被害を少なくすることを目指します。

私たちにできること



イラスト：AI生成（Microsoft Copilot使用）